

## 第4学年 国語科学習指導案

【研究主題】 夢と志をもち、ともに未来を切り拓く児童の育成  
 ～教育活動全体を通して、「学び合い」を楽しむ児童を育てる～

### 【研究の仮説】

児童が友達との学び合いの中で「伝えたい」「聞きたい」と思える手だてを講じ、教育活動全体を通して児童の発信・受信力を高め、相手とともに学ぶことの意義を知ること、他と関わりながら主体的に生きようとする気持ちを育むことができるだろう。

- 1 単元名 中心となる語や文を見付けて要約し、調べたことを書こう  
 教材名 世界にほこる和紙 伝統工芸のよさを伝えよう（光村図書）
- 2 単元の目標
  - ・事典の使い方を理解し使うことができる。
  - ・自分の考えとそれを支える理由と事例との関係を明確にして書き表し方を工夫することができる。
  - ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。
  - ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。

### 3 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使っている。</li> <li>・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つと気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。</li> </ul>

活動に即した具体的な評価規準	①百科事典の使い方を理解している。 ②読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つと気付いている。 ③文章を要約するために、書き手が伝えたいことは何かを考え、重要な語や文を見付けている。	①文章を読んで内容と構成を捉えた上で、まとまりごとに中心となる語や文を考えながら要約している。 ②調べたことや交流して分かったことを基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ③要約した文章を基に、場面に合わせた発信方法を考えている。	①伝統工芸について関心を持ち、単元全体の学習の見通しをもって、進んで学習に取り組もうとしている。 ②進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、複数の本を読んだりしようとしている。 ③進んで自分の考えと理由や事例との関係の書き表し方を工夫して、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。
----------------	--	--	---

#### 4 単元とその指導について

##### (1) 教材観

本教材「世界にほこる和紙」は、多くの人に和紙のよさを知ってもらい、使ってほしいという筆者の思いが、双括型で述べられた文章である。本教材は、「初め」「中」「終わり」の構成で書かれていて、和紙の特長と気持ちを伝える方法の一つとして和紙が使われてきたことが、複数の事例を挙げながら詳しく述べられている。洋紙と比較して述べられていること、複数の事例を挙げて説明していること、よさを、児童が実感しながら読み進めていくことができる教材だといえる。このように、本教材は、構成が捉えやすく、考えと理由の関係を捉えたり、中心となる語や文を見付けたりする学習に適しているといえる。第3・4学年の説明文の学習においては、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を読み取ったりすることが大きなねらいとなる。本教材では、筆者の説明のしかたを捉えたり要約したりする力を養い、伝統工芸品について百科事典などを活用して、調べたことをまとめて発表する活動を通して、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を読み取ったりする力を養わせたい。

##### (2) 児童観

本学年は、3年生の説明文に関わる単元で「段落」というまとまりを意識することや、「初め・中・終わり」に気を付けて読むことなどを学習してきた。そして、4年生では「アップとルーズで伝える」の単元で、文章構成や段落同士の関係を確かめ、筆者の考えを捉えることやアップとルーズの写真を用いて、構成を考え、文章を書くことを学習してきた。その中で、例を用いて、その例同士を比較しながら結論付け、そのことを友達に紹介するという活動を通して、構成を考える力や比較して結論付けていくという力を身に付けてきた。また、「要約するとき」の学習で、文の中心を探したり、筆者の主張について考えたりする活動を行ってきた。本単元では今までの学習で身に付けたことを複合し、百科事典や伝統工芸品に関する資料から中心となる語や文を見付けて要約し、自分の考えを交えて、児童が自身で調べた伝統工芸品の魅力について友達に紹介するという活動を設定した。そのような活動の中で、中心となる語や文を見付けることや要約する力を養わせていきたい。また、社会科の学習では、東京都のマップを実際に模型で工作したり、水道キャラバンで講師を招いて学習したりするなど、多くの体験活動に対して児童の関心が高い。そこで、関心の高い社会科との教科横断的な学習活動を展開し、国語科と社会科の単元の最終の学習活動の一つにすることで、両教科の学習意欲を高めたい。

### (3) 指導観

小学校学習指導要領解説国語編には、本単元に関する内容として、第3章第2節2(2)イ(3)オ、B(1)ウ、C(1)ウに位置付けられている。

また、社会科「東京都の特色ある地域の様子」に関連して指導していくものである。

本教材は、段落構成が捉えやすく、各事例から考えと理由の関係を捉えたり、中心となる語や文を見付けたりすることに大変適した教材である。4年生では、「物事を今までの経験等と比較、検討して考える力」を養うことが重要である。そこで、常時活動として行っている友達のよかったところを探すゲームや各教科の振り返りで友達のよいところを記述させることで、自然と他者と自分の考えを比較するという視点を学ばせていきたい。また、共通点と相違点を探すゲーム的な活動や「賛成」や「付け足し」のハンドサインを用いて、他者と比較して自分の考えをもつことや話し合い活動の基盤となる力を養成し、物事を比較、検討するという視点を常にもてるようにしていきたい。そして、カリキュラム・マネジメントを行い最終的な学習活動として、国語科と社会科の関連を図った学習課題を設定する。具体的には社会科「東京都の特色のある地域の様子」の学習で、自分が気に入った東京都の伝統工芸品について、タブレットを用いて「通信販売番組」の形で作成し、国語科の時間に紹介するという活動を行う。国語科では、中心となる語や文を見付けることや文を要約すること、百科事典等で資料を探すという技能を養うようにし、「通信販売番組」の原稿を書く活動を行う。このように、最終の学習活動を一つにすることで、最終目標に向けて必要な力をそれぞれの教科で必要感をもって、主体的に学んでいくことができる。また、紹介する伝統工芸品が一緒の児童でグループを作り、グループでより魅力が伝えられる「通信販売番組」を作成し、最優秀プレゼンターに対する特典を付けることで、児童同士で活発な学び合いを行うことができるものとする。

## 5 研究主題との関連

### (1) 目指す児童像

- 自分の考えを、思いを込めて伝えられる児童
- 友達の考えに興味をもって聞ける児童
- 発信したり受信したりしたことから自分の考えを再構築できる児童

中学年の目指す児童像

自分の考えをもち、友達とのやりとりを楽しみながら、学びをつなぐ児童

### (2) 研究主題に迫るための手だて

中学年における手だて

- ① カリキュラム・マネジメントを行い、教科横断的な学習を展開する
- ② 児童が主体的に取り組める、具体的な学習活動を最終ゴールとして設定する
- ③ 教育活動全般を通して、話の聞き方や話し合いの仕方の基礎を養う

#### ① カリキュラム・マネジメントを行い、国語科と社会科の関連を図る

カリキュラム・マネジメントを行い、教科横断的な学習を行うことで、学習をその教科の単位だけで完結させずに、どの教科でも生かしていき、学びをつないでいけるようにする。そうすることで、学習意欲を持続させ、国語科、社会科のどちらの教科でも明確な目的意識をもって学習に取り組むこ

とができると考える。本単元では、社会科の導入でゲストティーチャーを招き、藍染体験することで伝統文化に興味関心をもたせるようにする。そして、児童の関心の高い社会科の単元と関連を図ることで、自分の考えをもって課題に取り組み、発信したり、振り返りを行ったりすることができると思える。

- ② 社会科で調べた東京都の伝統工芸品について、タブレットを用いて「通信販売番組を作成する」という形で紹介することを最終ゴールに設定する

本単元の目標である「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」を達成するために、第二次で教材「世界にほこる和紙」を用いて、中心となる語や文をもとに書いてある内容を要約する方法を学ぶ。そして、児童それぞれの興味のある伝統文化に関する資料を社会科の時間で調べる時間を設ける。その際に、国語科の学習を生かして中心となる語に注目してまとめることができるようにする。また、児童の関心の高いタブレットを用いて、タブレットの紹介ソフトを使い、「通信販売番組を作成する」という最終の学習活動を設定することで、意欲を持続し、目的意識をもって、学習に取り組んでいくものとする。なお最優秀プレゼンターグループには校長から朝の児童朝会で紹介してもらうようにすることで、意欲をさらに高められるようにする。

- ③ 朝の会、帰りの会の常時活動と、各学習でのハンドサインや友達の「良いところ見つけ」の活動で話の聞き方や話し合いの基礎を養う

毎日の常時活動として、朝の会と帰りの会に友達の話を聞きたくなるような都道府県に関する日直クイズや「ほめほめグーチョキパー」というミニゲームを行ったり、共通点や相違点を見付けるための「ペアDEトーク」といったミニゲームを行ったりする。そして、そのような活動を通して話し合いの中で自然と友達の話に耳を傾け、自分と友達との共通点や相違点を探すことに意識が向かうようにし、話し合いの基礎を築いていく。また、友達の発言に対してハンドサインで「賛成」や「付け足し」など友達の意見に対する自分の考えを表現させることで、友達の話を聞く態度を養い、それに対する自分の考えを自然にもてるようにする。また、毎時間の学習感想の中で、友達の良かったところを記述させる項目を設けることで、友達の良かったところに視点を当てさせ、友達の話を集中して聞こうとする雰囲気づくりにつながるようにする。

## 6 指導計画（26時間扱い）（26時間扱い…国語科16時間、社会科10時間）

※下線部は児童が考えを学び合う場面

次	時	○主な学習活動	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
	1	○藍と草木染を体験する。	【ゲストティーチャー】  [主] 伝統的な技術を生かしてつくられた伝統工芸品について興味をもち進んで学習に取り組もうとしている。(行動観察)
	2	あいと草木ぞめを体験し、みりよくに触れよう。	
社会科		○学習感想を書き発表する。	

一	1	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="311 212 805 324" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「世界にほこる和紙」を読み、最初の感想を書こう。</p> </div> <p>○社会科で行った藍染体験から感じたことを発表する。</p> <p>○「世界にほこる和紙」を読み、初発の感想を書く。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇「魅力」「職人の方の思いや願い」等の項目を分けて板書する。</p> <p>◇和紙を準備する。</p> <p>◇初発の感想には「初めて知ったこと」「もっと知りたいこと」「これから学習したいこと」等を書くように促す。</p> <p>[主] ウ①</p> <p>伝統工芸について関心をもち、単元全体の学習の見通しをもって、進んで学習に取り組もうとしている。(発言・ノート)</p>
	3 社会科	<p>○染め物体験活動を振り返る。</p> <p>○伝統工芸品という言葉を知る。</p> <div data-bbox="287 840 798 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ伝とう工芸品は今も受けつがれているのか考えよう。</p> </div> <p>○なぜ伝統工芸品は今も受け継がれているか話し合う。</p> <p>○学習計画を立てる</p> <div data-bbox="287 1131 837 1243" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東京都の伝統工芸品のみによくのひみつを調べよう。</p> </div> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇伝統工芸品とは長い年月をかけて、「環境」や「歴史」の中で時代をこえて「受けつがれてきた」技術や方法で作られた工芸品だということを押さえる。</p> <p>◇伝統工芸品の魅力について「物のよさ」「地域の特色や歴史」「人々の思いや願い」等に項目を分けて板書し魅力の視点を共通認識する。</p> <p>◇なぜ伝統工芸品は今も受け継がれているのか話し合いを基に学習問題や学習計画を立てるようにする。</p> <p>[主] 伝統工芸品の盛んな地域について、予想や学習計画を立てたり、体験を振り返ったりして、学習問題を追究しようとしている。(発言・ノート)</p>
	2	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="287 1624 837 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題を考え、学習計画を立てよう。</p> </div> <p>○初発の感想の交流を行う。</p> <p>○学習問題をつくる。</p> <div data-bbox="295 1814 821 1937" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お気に入りの伝とう工芸品について、通信はん売番組を作成しよう。</p> </div> <p>○学習計画を立てる。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇初発の感想を基に、学習問題や学習計画を作成するようにする。</p> <p>[主] ウ①</p> <p>伝統工芸について関心をもち、単元全体の学習の見通しをもって、進んで学習に取り組もうとしている。(発言・ノート)</p>

二	3	<p>○学習問題と学習計画を確認する。</p> <p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「世界にほこる和紙」を読んで、内容と組み立てをたしかめよう。</p> </div> <p>○全文読みをする。</p> <p>○形式段落に分け、文章構成を考える。</p> <p>○各まとまりの書かれている内容を捉える。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇教室内に掲示しておいて、常時確認できるようにする。</p> <p>◇文章構成はグループで根拠を交えて話し合う。</p> <p>◇小段落ごとに小見出しを付けて内容の確認が行えるようにする。</p> <p>[思・判・表] イ①</p> <p>文章を読んで内容と構成を捉えた上で、まとまりごとに中心となる語や文を考えている。(発言・ノート)</p>
	4	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「初め」「中」「終わり」の中心となる語や文を見つけよう。</p> </div> <p>○全文読みをする。</p> <p>○「初め」「中」「終わり」の中心となる言葉や文にサイドラインを引く。</p> <p>○「初め」「中」「終わり」の中心となる言葉や文をまとめる。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇くり返し出てくる表現に注目させるようにする。</p> <p>◇「中」は、前半と後半に分かれていることを確認できるようにする。</p> <p>◇「初め」「中」「終わり」で、まとめることが難しい児童には、小段落ごとの中心となる言葉や文をつなげるように伝える。</p> <p>[思・判・表] イ①</p> <p>文章を読んで内容と構成を捉えた上で、まとまりごとに中心となる語や文を考えている。(発言・ノート)</p>

5	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「世界にほこる和紙」の要約をしよう。</div> <p>○全文読みをする。</p> <p>○要約をする際の手順を確認する。</p> <p>○「世界にほこる和紙」の要約をする。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇「初め」「中」「終わり」の構成を考えてまとめることを確認する。</p> <p>◇中心となる言葉や文を用いてまとめるということを確認する。</p> <p>[知・技] イ③ 文章を要約するために、書き手が伝えたいことは何かを考え、重要な語や文を見付けている。(ノート)</p> <p>◇おおまかな文字量を提示する。</p> <p>[思・判・表] イ① 文章を読んで内容と構成を捉えた上で、まとまりごとに中心となる語や文を考えながら要約している。(ノート)</p>
6	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">伝とう工芸品に関する資料を読み、要約しよう。</div> <p>○資料を読む。</p> <p>○中心となる言葉や文を抜き出す。</p> <p>○要約をする。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇要約をする際の手順を確認する。</p> <p>[知・技] イ③ 文章を要約するために、書き手が伝えたいことは何かを考え、重要な語や文を見付けている。(ノート)</p> <p>◇おおまかな文字量を提示する。</p> <p>[思・判・表] イ① 文章を読んで内容と構成を捉えた上で、まとまりごとに中心となる語や文を考えながら要約している。(ノート)</p>
7	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">要約した文章をもとに、「通信はん売」のしょうかい文を書こう。</div> <p>○前時に要約した伝統工芸品について「通信販売」の形で紹介文を書く。</p>	<p>◇文章が構成しやすいワークシートを準備する。</p> <p>◇商品の魅力をどのように伝えるかを意識させるようにする。</p> <p>[思・判・表] イ③ 要約した文章を基に、場面に合わせた発信方法を考えている。(ノート・発言)</p>

<p>8 一 組 ・ 本 時</p>	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループで、伝統工芸品のみによくが最大に伝わる「通信はん売」のしょうかい文を考えよう。</p> </div> <p>○前時に書いた伝統工芸品の「通信販売」の紹介文を確認する。</p> <p>○児童それぞれが書いた「通信販売」の紹介文をグループで交流し、最も伝統工芸品の魅力が伝えられる紹介文にまとめる。</p> <p>○タブレットを用いて、自分たちの発表について振り返りを行う。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇児童の書いた良い例と教師の作成した悪い例を用いて「商品の魅力」と「伝える方法」のポイントを考える。</p> <p>◇「商品の魅力」と「伝える方法」の二項目が記入できるワークシートを用意し、ホワイトボードを用いて話し合う。</p> <p>[思・判・表] イ②</p> <p>調べたことや交流して分かったことを基に、自分の考えと理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(ワークシート・発言)</p> <p>◇共通点や相違点を意識させ、友達の紹介の良かったところを中心に感想を交流する。</p>
<p>4 社 会 科</p>	<p>○学習問題を確認する。</p> <p>○東京染小紋の写真を見て感想を伝え合う。</p> <p>○東京染小紋の魅力について予想し話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東京染小紋はどのようにつくられているか調べよう。</p> </div> <p>○道具や材料、作業手順について調べる。</p> <p>○染め物職人の工夫、思いや努力について考える。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇白生地から染められていることを説明し、着物を仕立てる技術ではなく染める技術に注目させる。</p> <p>◇作業工程を調べる中で、職人の工夫や努力へ視点が向くようにする。</p> <p>◇技術だけでなく受け継ぐ職人の思いによって長く受け継がれていることに着目させる。</p> <p>[知・技] 伝統工芸品の盛んな地域の染め物産業に携わる人々の活動や思い、人々の協力関係などについて調べ、必要な情報を集め、読み取り様子について理解している。</p> <p>(発言・ノート)</p>

<p>5 社 会 科</p>	<p>○東京染小紋はどこの地域の工芸品か考える。</p> <p>○今の新宿区についてどの様なイメージをもっているか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ新宿区で染め物がさかんになったのか考えよう。</p> </div> <p>○資料や地図を見て昔から川を利用して染めていたことやさかんになった理由を歴史背景に触れながらまとめ、話し合う。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇伝統工芸品の意味を振り返り昔の新宿の地域の特色が関係するかもしれないことに気付くように促す。</p> <p>◇染め方を振り返り、さかんになった理由として川が関係することに着目させる。</p> <p>[思・判・表] 伝統工芸品の盛んな地域の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景などに着目して、各地域の様子について考え表現している。</p> <p>(発言・ノート)</p>
<p>6 社 会 科</p>	<p>○新宿区の染め物屋が減ってきたことを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>染め物を生かした新しい取り組みについて調べよう。</p> </div> <p>○資料を見て新しい取り組みがどのような人たちによって行っているか調べ、まとめる。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇伝統的な染め物を受け継ぐということは、技術の継承だけでなく、「地域の人々の思いや願い」も関係することを捉えるようにする。</p> <p>[知・技] 伝統工芸品の盛んな地域の染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、各地域の様子を理解している。(発言・ノート)</p>
<p>7 社 会 科</p>	<p>○東京染小紋について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>東京染小紋の盛んな新宿区はどんな区か考えよう。</p> </div> <p>○染め物がさかんな新宿区の特色について考えをまとめる。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇これまでの学習を思い出しながら伝統工芸品の魅力について「物のよさ」「地域の特色や歴史」「人々の思いや願い」等に項目から新宿区の特色を考えるようにする。</p> <p>[知・技] 調べたことを地図や文章などにまとめ、各産業に携わる人々が協力し、特色あるまちづくりや各産業の発展に努めていることを理解している。(発言・ノート)</p>

<p>三</p>	<p>9 10</p>	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>紹介したい伝統工芸品を探そう。</p> </div> <p>○「百科事典での調べ方」を読み、百科事典の利用のしかたを知る。</p> <p>○百科事典や本を使って、紹介したい伝統工芸品を探す。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇「柱」や「つめ」を手がかりにして、調べたいページが調べられることを確認する。</p> <p>◇「一番の魅力」を伝えたいと思える伝統工芸品を選ぶようにさせる。</p> <p>[知・技] ア① 百科事典の使い方を理解している。(態度・ノート)</p> <p>[知・技] ア② 読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つと気付いている。(態度・ノート)</p>
	<p>11 12</p>	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が選んだ伝統工芸品の本について要約しよう。</p> </div> <p>○「よさ」や「魅力」が伝わるような中心となる言葉や文を抜き出す。</p> <p>○要約をする。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇要約をする際の手順を確認する。</p> <p>◇おおまかな文字量を提示する。</p> <p>[主] ウ② 進んで中心となる語や文を見つけて要約したり、複数の本を読んだりしようとしている。(態度・ノート)</p> <p>[思・判・表] イ① 文章を読んで内容と構成を捉えた上で、まとまりごとに中心となる語や文を考えながら要約している。(ノート)</p>

8 9 社 会 科	<p>○東京都の伝統工芸品が 41 種類あることを知る。</p> <p>○東京都の伝統工芸品の中から一つ選び、その伝統工芸品の魅力についてパソコンを使ってまとめる。</p> <div data-bbox="292 409 805 524" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東京都の伝統工芸品の魅力についてまとめよう。</p> </div> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇興味をもったものを選びパソコンや本などの資料を使って調べる</p> <p>◇調べる際に「物のよさ」「地域の特色や歴史」「人々の思いや願い」を調べることを確認する。</p> <p>[思・判・表] 特色ある地域の人々の活動や産業を地域の発展と関連付けたり、比較したりして各地域の特色を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判別したりして、適切に表現している。(作品)</p>
10 社 会 科	<p>○<u>まとめたものを基にこれからの伝統的な技術を生かした地場産業についてどの様に関わっていきたいか話し合う。</u></p> <div data-bbox="292 965 834 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これからの東京都の伝統工芸品について考えよう。</p> </div> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>◇これまでの学習や発表を聞いて考えたことを思い出しながら話し合うようにする。</p> <p>◇自分はどのように関わっていくかについてをポイントに考えるよう促す。</p> <p>[思・判・表] 学習したことを基に、これからの伝統的な技術を生かした地場産業について、どのようにかかわっていくべきか考えようとしている。(発言、ノート)</p>
13	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="292 1429 842 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>要約した文章を基に、「通信販売」の紹介文を書こう。</p> </div> <p>○前時までに要約した伝統工芸品について「通信販売」の形で紹介文を書く。</p>	<p>◇文章が構成しやすいワークシートを準備する。</p> <p>◇商品の魅力をどのように伝えるかを意識させるようにする。</p> <p>[主] ウ③ 進んで自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫して、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。(ノート、発言)</p>

<p>14</p> <p>二組・本時</p>	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループで、選んだ伝統工芸品の みりょくが最大に伝わる「通信はん売」 のしょうかい文を考えよう。</p> </div> <p>○前時に書いた伝統工芸品の「通信販売」 の紹介文を確認する。</p> <p>○児童それぞれが書いた「通信販売」の紹 介文をグループで交流し、最も伝統工芸 品の魅力が伝えられる紹介文にまとめ る。</p> <p>○ワールド・カフェ方式で交流する。 ○紹介文の修正ポイントを話し合う。 ○学習感想を書く。</p>	<p>◇児童が書いた良い例と教師が作成した悪い 例を用いて「商品の魅力」と「伝える方法」 のポイントを考える。</p> <p>◇「商品の魅力」と「伝える方法」の二項目が 記入できるワークシートを用意し、ホワイト ボードを用いて話し合う。</p> <p>[思・判・表] イ②</p> <p>調べたことや交流して分かったことを基 に、自分の考えと理由や事例との関係を明 確にして、書き表し方を工夫している。(ワ ークシート・発言)</p> <p>◇共通点や相違点を意識させ、友達を紹介の 良かったところを中心に感想を交流する。</p>
<p>15</p>	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「通信はん売」発表会に向けて、 分かりやすい発表のしかたを考えよう。</p> </div> <p>○前時に書いた「通信販売」の紹介文を確 認する。</p> <p>○発表練習を行う。</p>	<p>◇どのような話し方や伝え方をすれば、商品 の魅力がより伝わるかを考える。</p> <p>[思・判・表] イ③</p> <p>要約した文章を基に、場面に合わせた発信 方法を考えている。(発言)</p>
<p>16</p>	<p>○今日のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「通信はん売」発表会をしよう。</p> </div> <p>○「通信販売」の発表会をする。</p> <p>○発表会の感想を交流する。</p> <p>○単元全体の学習感想を書く。</p>	<p>[思・判・表] イ②</p> <p>調べたことや交流して分かったことを基 に、自分の考えと理由や事例との関係を明 確にして、書き表し方を工夫している。(発 言)</p> <p>◇友達の良かったところを中心に交流するよ うにする。</p>

6 本時の学習（本時8 / 16）

第4学年1組 23名 授業者

(1) 本時の目標

○伝統工芸品の魅力を伝えるために自分の考えと理由や事例との関係を明確にして、紹介文を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

伝統工芸品の魅力を伝える紹介文について、「商品の魅力」と「伝える方法」の視点からグループで分かりやすいものを考え書き表している。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が考えを学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
3	○本時のめあてを確認する。 グループで、伝統工芸品のみりよくが最大に伝わる「通信はん売」のしょうかい文を考えよう。	◇前時までを振り返り、学習計画を確認する。
8	○前時に書いた伝統工芸品についての「通信販売」の紹介文を確認する。 ・最初に一番伝えたいことを言っているから分かりやすい。 ・例がなくて分かりにくい。	◇児童が前時に作成した「通信販売」の紹介文と教師の作成した内容の足りない「通信販売」の紹介文を比較し「商品の魅力」と「伝える方法」の良いポイントについて確認する。
32	○ <u>児童それぞれが書いた「通信販売」の紹介文をグループで交流し、最も伝統工芸品の魅力が伝えられる紹介文にまとめる。</u> ・商品の一番の魅力は○○だから、これは絶対にいれた方がいい。 ・△△さんの説明している魅力のことは気付かなかったけど、とても良い魅力だね。 ・クイズを取り入れたり、聞いている人に質問したりする方法は良いね。	◇「商品の魅力」と「伝える方法」の二項目が記入できるワークシートを用意し、ホワイトボードを用いて話し合えるようにする。 ◇話し合いが活発になるように意図的なグループ分けを行う。 ◇「商品の魅力」と「伝える方法」が分かりやすいかの視点で、発表を聞くようにする。
40	○ <u>タブレットを用いて、自分たちの発表について振り返りを行う。</u> ・このぐらいの声の大きさだと分かりやすいね。 ・視線を聞いている人に向けよう。 ○学習感想を書く。 ・○○さんの書き方がよかったので参考にしたいな。	◇タブレットを準備し、自分たちの発表を客観的に見られるようにする。 [思・判・表] イ② 調べたことや交流して分かったことを基に、自分の考えと理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(発言、ワークシート) 振り返りは以下の視点で書くよう指導する。 ・気付いたこと ・友達の良かったところ ・これからの学習に生かしていきたいこと

学習感想	本時で まとめた ワークシ ー ト	本時で まとめた ワークシ ー ト	ポイント	紹介文の 良い例 拡大	十一月二十七日(金) 「伝統工芸のよさを伝えよう」 めあて グループで、伝統工芸品のみりよくが最大に伝わる「通信 はん売」のしよukai文を考えよう。
	本時で まとめた ワークシ ー ト	本時で まとめた ワークシ ー ト			
	本時で まとめた ワークシ ー ト	本時で まとめた ワークシ ー ト			

7 本時の学習（本時 14 / 16）

第4学年2組 22名 授業者

(1) 本時の目標

○自分が紹介したい伝統工芸品の魅力を伝えるために自分の考えと理由や事例との関係を明確にして紹介文を書き表すことができる。

(2) 本時の評価規準

自分が紹介したい伝統工芸品の魅力を伝えるために、友達との交流を通じて分かったことを生かして紹介文を書き表している。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が考えを学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
3	○本時のめあてを確認する。 グループで、選んだ伝統工芸品のみりよくが最大に伝わる「通信はん売」のしょうかい文を考えよう。	◇前時までを振り返り、学習計画を確認する。
8	○前時に書いた伝統工芸品についての「通信販売」の紹介文を確認する。 ・前と同じで最初に一番伝えたいことを言っているから伝えたいことがよく分かる。 ○ <u>児童それぞれが書いた「通信販売」の紹介文をグループで交流し、最も伝統工芸品の魅力が伝えられる紹介文にまとめる。</u> ・選んだ商品の一番の魅力は○○だから、これは絶対にいれた方がいいと思う。 ・子どもにも大人にも△△さんの説明している魅力は、知りたいと思う内容だね。付け足そう。 ・この魅力はもっと詳しく説明を入れて聞く人に興味をもってもらおう。	◇児童が前時に作成した「通信販売」の紹介文と教師の作成した内容の足りない「通信販売」の紹介文の拡大を用意し、比較し「商品の魅力」と「伝える方法」の良いポイントについて第8時に行った紹介文を基に確認する。 ◇「商品の魅力」と「伝える方法」の二項目が記入できるワークシートを用意し、ホワイトボードを用いて話し合えるようにする。 ◇「商品の魅力」と「伝える方法」が分かりやすいかの視点で、発表を聞くようにする。
32	○ <u>ワールド・カフェ方式で交流する。</u> ・この説明分かりやすいね。 ・この魅力伝わりにくいからもう少し説明してほしいな。	◇グループの一人がとどまり、残りの3人は旅人となって他のグループに移動し、発表を聞く。 ◇友達の紹介の良かったことを中心に感想を交流する。 [思・判・表] イ② 調べたことや交流して分かったことを基に、自分の考えと理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(発言、ワークシート)
40	○ <u>紹介文の修正ポイントを話し合う。</u> ○学習感想を書く。 ・○○さんの意見が参考になった。	◇振り返りは以下の視点で書くよう指導する。 ・気付いたこと ・友達の良かったところ ・これからの学習に生かしていきたいこと

十一月二十七日(金)

「伝統工芸のよさを伝えよう」

めあて

グループで、選んだ伝統工芸品のみりよくが最大に伝わる「通信はん売」のしよかい文を考えよう。

紹介文の

良い例

拡大

紹介文の

悪い例

拡大

ポイント

ワールドカフェの方法、席表

学習感想